漫画とやつかれがあみ次てはやくのつゞひ
本するありぬるここてしいままくに見つゝ
ろうするさまとをてあつうしやまゝといゝま
あるきものいくは物体ものとさかゝつえう
くりて例のくせる筆まのやれつゝら
ひろけてみるまりまうの世るあつうんつら
らんていさましくも花うえゝゝ
おのしくもさるく米のひつきれてたゞ何のこう
ふまやいるや此翁の筆つゝひをきるいく

北斎漫画九編

漫画 九編

さくらこつんはむかしの人のほんよの
しかしいきゆる筆まて不動まてうれしくこそ
つきのさかりよへてむさはいむかうきて献けく
けんしとをきこれとこれるもかの筆は呆のい
なしへわかへてしらりのうきてはさけてそんそ
うはかの九角九信促せられて此さしつるうた
筆いろかときや見れ鞆の壽はわかくつれてかき
もとさきてわすれかまへきとよう人わかめうく
やみんうし

六樹園

日本武尊
碓井峠
色の圖

太元帥之像

魚鱗
鋒矢
長蛇
圓行
太極 五行之陣勢
出地
入地
偃月
雁行
方行
一逆
一順
石垣棚
西白虎
南朱雀
北玄武
前低
後高
東青龍
引橋
扇形水[illegible]

能登守教經

近江國貝津ノ里遊女金子カ力量

ほうくわだい
烽火臺

北斎漫画九編

傾城
傾国
女伶
坂上田村麿
鈴鹿山賊徒を討る

盛寵
令可
姣童

野見宿祢
當麻蹶速

北齋漫畫九編

出陣勇勢之圖（しゆつぢん ゆうせいのづ）

佛御前嵯峨野に妓王妓女を弔フ

寡女（やもめ）
大井子怪力（おゝいこくわいりよく）

常盤為子操を破

平相國清盛負婦に迫る

阿蘭陀人夜ル天文ヲ考ル圖

相図

雨足

百雷鳴

白雲雙玉

群鳧

震火 激雷

光烟柵

炮碌
北斎漫画九編

司馬仲達（しば ちうたつ）

北斎漫画九編

仁田ノ四郎忠常
冨士の巌窟に
至る

北斎漫画九編
探騎
駈立
居鋪

藤原純友九州に謀叛す

藤太秀郷
龍宮城に至
寶を得て帰る
龍宮
龍宮

桓公老馬に随ひ国に帰る

大豊作

万民

戯楽

江都書林衆星閣蔵板目録

金匱要略輯義 法眼多紀先生著 全十冊
諸名家の註釈多く論じ先生の考を加ふ金匱の注釈ハ此書に尽ると云ふべく医家必見るべき書也

掌中詩学筌蹄 小林順信卿著 折本一冊
此書ハ初学の人詩を作るに安からしめん為に四季人事の詩題を分其引用べき熟字数様を多く集是に平仄を記し且ハ此書ていろは引にて尋るも便ならしむ

十七帖 晋王羲之書
王羲之の草書十七帖を第一とす書を学ぶものなるべきてほんなり

狂詩砕錦 六樹園先生著 小本全二冊
狂詩に用ゆべき語数殊をあげ四声平仄を附し初心の人此書をよく見る時ハ立所に狂詩を作らんと自在なり

滑川談 大峰家田先生著 全一冊

麹町平川町丁目
書物問屋 角丸屋甚助

作文率 文用例證 北山先生著 全四冊
古今文章の要用を論じ書法の例をあげ文章を作るものゝかゝでかなふまじきの書なり

孔子系譜全圖 露木直信撰 一枚
孔氏の始祖黄帝より聖人一世の徒及び家暦代衍聖公襲封絶ことなくたえざること又支流乃孫賢達の人この傳ある者をのせくわしく孔氏一家のことを知るに便なり

杏園詩集 蜀山先生著 近刻

同 文集 右同 同

入官第一義 大峰家田先生著 全一冊

聖道辨物 右同 全二冊

庭訓往来捷注　駒龍先生著　全一冊

本文を六大字にて書たまへ初学者の為にてあれば　あるべき音訓をかな文の頭に掲げ　ごくの便とし注解のよう古今の注に漏たるをも増補せり庭訓往来の注は此一書につくせり

古状揃捷注　近刻

庭訓注解のごとく童蒙独学あらるるちの為

實語教捷注　同

右に同く童児にも解し安きやうに

同　證注　全一冊

右に同く本文のぎやうに細注して童蒙の便とす

新撰碁經大全　秋山仙朴著　全三冊

武家諸法度　全一冊

増補徒然草拾遺　大本　四冊　小本　四冊

関流算法點竄指南　梅田大原両先生閲　全三冊

増補塵劫記　全一冊

七代将軍更料紀行　全一冊

挑隣句選七巻集　中本　一冊

俳諧田ごれ日　挑隣先生著　小本一冊

からに四季の季ょせあげ其ぶに古今乃句を俳諧の解しやすき注解を加へ

俳諧四季名寄　寸珍懐中　鐘開齋差人著　全一冊

四季ょせおのく新題を出し関東名所...

北齋漫画初編

さまざまの画を写し編を続く

同　二編

初編にのこれる人物草木山川鳥獣魚虫までよくあつむ

同　三編

二編にもれたる所の表題をのせたるなり

同　四編

草筆を加へ席上の際本にせんとす

同　五編

先哲堂書画月卿雲客館有房舎の類を写して当時の盛なる所を

同　六編

剣法棒法其余の武芸あるをのせたる一書となる

書札獨稽古　岩田夫山先生書

絵入童子ぶ六大字にてよく其のを書あつめたり

画紙形詩歌　右同　墨帖　一本

ちらし書　右同　大本　一冊

菅神廿八品倭歌　右同　經冊　一冊

諸家案文集　右同　大本一冊

風月往来　右同　大本一冊

商賣往来　右同　大本一冊

古状揃獨稽古　右同　大本一冊

忠孝潮来府志　焉馬作　北齋画　五冊

御成敗式目獨稽古　全一冊

画本葛飾文庫　前北齋戴斗老人筆
當時流行する所の画人の画と大に異なり一流の風
情然たる一草一筆の勝本を要とすと

画本外傳　前北齋戴斗老人筆
鳳眼燕尾の筆意あらはしてくはしく其のはこびを画に
いろよむべきの書なり

和漢朗詠集獨稽古　全二冊

雜書年代記大成　一枚摺

江戸往来獨稽古

東都畫工　北齋改　葛飾戴斗
同　板合門人　魚屋北溪
　　　　　　　斗圓樓北泉
尾陽名古屋板合門人　月光亭墨僊
　　　　　　　　　　東南西北雲

文化十四年
丑孟春

江戸日本橋四日市　竹川藤兵衛
同本石町十軒店　英屋平吉
名古屋本町七丁目　永樂屋東四郎
江戸麹町平川二丁目　角丸屋甚助